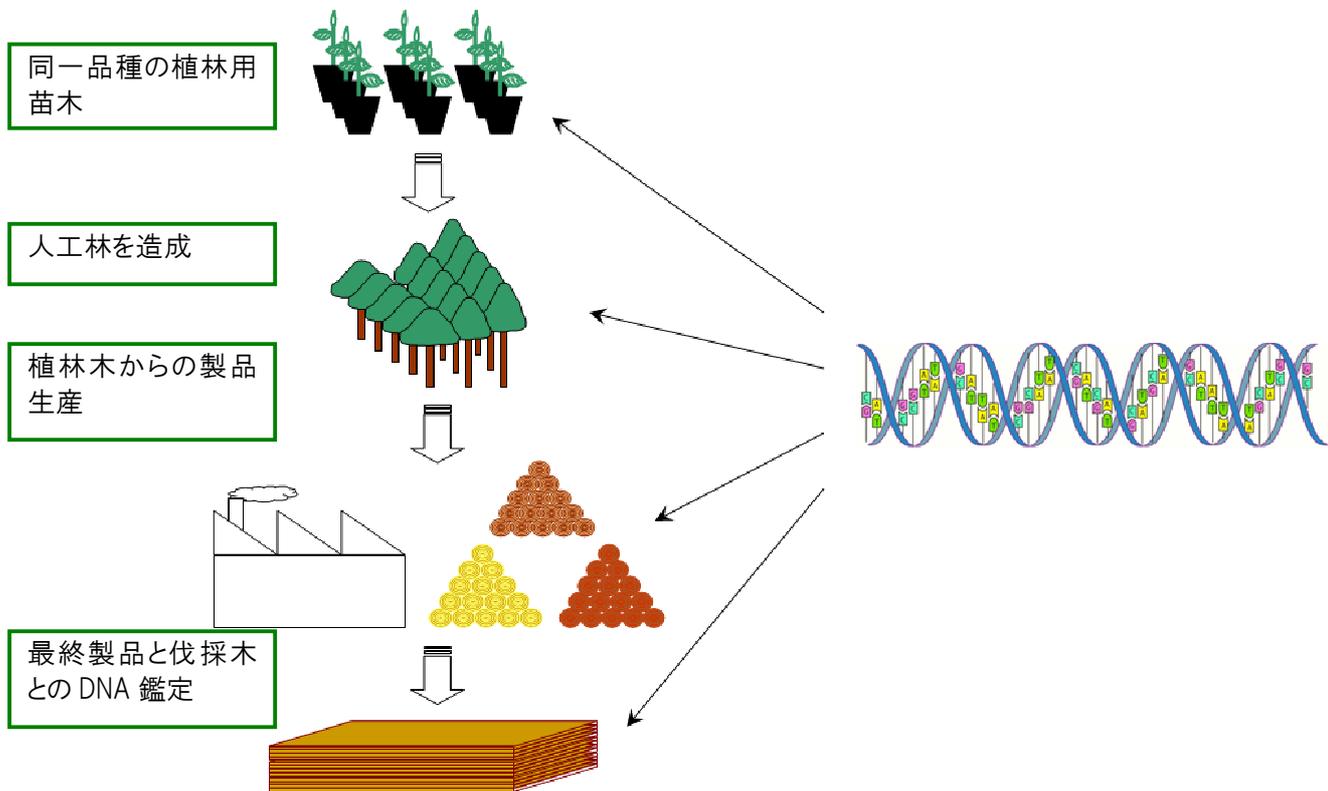


■ 参考資料-1 ■

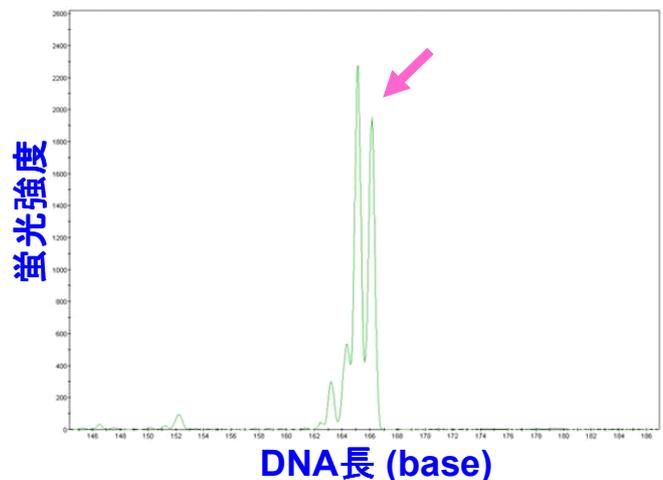
【DNAによる木材製品の履歴管理】

DNAを調べることにより、苗から丸太、木材製品まで個体識別が可能であり、履歴管理に利用できる。



【合板の個体識別(例)】

ファルカタ※合板(左図)からDNAを抽出し、解析したところ、明瞭なピーク(右図)が検出され個体識別が確認できた。



※主に東南アジアで植栽されている早生樹であり、合板などに加工される。南洋桐とも呼ばれ、材は軽軟。